

令和6年度天皇杯受賞者受賞理由概要
林産部門

森林サービス産業の推進による都市近郊での新たな林業経営

○氏名又は名称 株式会社 T-FORESTRY（代表 辻村 百樹）

○所在地 神奈川県小田原市

○出品財 経営（林業経営）

○受賞理由

・地域の概要

小田原市は、神奈川県南西部に位置し、市域の38%が森林で、うちスギ、ヒノキ等の人工林が68%を占めている。同社が運営する森林空間活用サービス施設は、東京から車で1時間30分ほどでアクセスができ、観光地の箱根に隣接している。周辺には、市の施設である「小田原市いこいの森」や「こどもの森公園わんぱくらんど」等があり、一帯は「ODAWARA FOREST BASE」と称され、同市は林野庁の「森林サービス産業推進地域」に登録されている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

同社は、代表の辻村氏が所有する森林をレクリエーションのための活動空間として活用するサービスを開始するために平成22年2月に設立された。

当該森林は、江戸時代に商家であった辻村氏の祖先が、小田原藩に金銭面で貢献した功績により与えられた藩有林の永代管理権を承継したものである。現在、13歳級以上のスギ、ヒノキの人工林が主体であり、中には林齢300年を超える巨木もある。

伐採後の植林、保育による支出を考慮すると現時点では収益が見込み難いことから、一時的に主伐を休止し、間伐のみ行っている。そのような中、森林空間を活用して新たなサービスを提供することを発案し、平成22年4月に「フォレストアドベンチャー」事業がスタートした。

・受賞者の特色

＜高齢級の森林を活用した森林サービスを展開＞

フォレストアドベンチャーは、地上から高さ10～22mの木々の間に張られたワイヤーをジップスライド（空中滑空）や樹間歩行をしながら約1haの森林内を巡ることができる施設である。さらに、平成30年からは、2.5haの森林内で既設の作業道を活用したマウンテンバイク用のコースを10種類、総延長2.5kmを整備し、「フォレストバイク」事業も開始するなど、森林空間を活用したサービスを展開している。今では年間約2万人が訪れる人気スポットとして集客に成功している。

・普及性と今後の発展方向

同社は、令和6年3月にフォレストアドベンチャーのリニューアルを行うなどリピート客を飽きさせない工夫を重ねるとともに、利用者の安全確保のための枯損木や危険な枝の除去等の森林管理を日々行っている。

同施設は立木をそのままの状態を活用しており、同社は、育林作業を継続しながら、木材販売による収入が少ない中でも森林空間を活用して収入を確保することによって、林業経営の持続性を高める先進事例を提示し、高齢級の森林資源と立地状況に適応した経営により、代々育んできた森林を後世に引き継ぐ取組を進めている。